

平成10年度第5回日本生物物理学会運営委員会議事録

日時：1998年10月2日（金）12：00～13：00

場所：九州大学六本松キャンパス新1号館5階会議室

出席者：松本会長、郷通・川戸副会長、太和田年会実行委員長、桐野編集実行委員長、新田北海道支部長、鈴木東北支部長、青木・赤坂・市川・桂・木島・楠見・栗原・重定・月原・中村・永山・藤吉・三木各委員、山田12年度年会実行委員、永田学会事務局秘書

報告事項：

1 平成12年度年会開催場所について（松本）

次々回年会の開催地について、基本的に東北大学で開催との方向で準備を進めるとの報告。予定開催日時は9月15日～17日。改修工事の予算が通過すれば開催が不可能となる可能性もあることより、第2候補として大阪大学が挙げられている。

2 選挙結果報告（市川）

資料：報2

平成11年度次期会長選挙は郷通子氏が選出。その他、平成11・12年度学会員、平成11年度科研費1段・2段審査委員候補についての報告。上記選挙の詳細は会誌219号公告を参照のこと。また平成11年度科研費1段審査委員（時限付き細目、複雑系の科学）の、委員による推薦結果より、巖佐庸、吉川研一、垣谷俊昭の各氏を候補者として学術会議に推薦した事が報告された。

3. 生物物理若手の会夏の学校の報告（松本）

資料：報3

本年度の若手の会夏の学校の収支と、若手の会新役員、各支部役員の報告。

4. 賞・助成金推薦委員会報告（郷通）

資料：報4

本学会から各賞・助成に推薦する候補者は以下の通り。1998年度朝日賞候補者：柳田敏雄 第6回日産科学賞：石島秋彦 平成10年度島津賞：伏見譲 第25回日産科学助成（一般研究）：豊島近・芝清隆 第25回日産科学助成（奨励研究）：海野雅司・清水敏之・夏目季代久・日比野政裕 東レ科学技術研究助成：花井亮・石島秋彦 東レ科学技術賞：平塚寿章

既採択結果；山田科学振興財団1998年度研究援助：船津高志・石島秋彦 ノバルティス科学振興財団海外学会出席助成：工藤卓 （敬称略）

5. 広告代理店について（楠見）

広告代理店を現在の AE 企画から変更するか否かの議論は新運営委員会でも継続されることとなった。広告担当委員が取り扱い会社のリストを入手するなどの下調べを行う。

6. 物理学会生体物理分科の今後と本年度秋の物理学会（沖縄）の活動報告 （永山）

新しい生体物理分科の世話人に中村春木委員が就任。また、化学物理などと合同で形作られている領域 1 2 の代表候補として、美宅氏が就任。

7. 2001 年 IUPAP Biological Physics の報告（永山） 資料：報 6

京都で 2001 年 7 月 30 日～8 月 3 日まで開かれる上記国際会議の説明。参加予定者数は約 700 名。主なテーマは、ゲノムや脳などの BioComplexSystem や、分子機械としての生体高分子の物理等。組織委員長は郷信広氏、事務局長は伏見議氏。

8. 生物物理学会教育小委員会の活動報告（永山）

若年層に対する啓蒙を主な目的とした上記小委員会の活動の方向性について、現状では人手や時間の面から、学会として積極的に活動できる状況ではないが、個人としていろいろな機会を利用して啓蒙を行うことで委員会の活動とすることが確認された。

9. 光生物学協会平成 11・12 年度委員推薦について（松本）

上記委員について、現委員の津田基之氏を引き続き推薦。

議題：

1. 平成 10 年度中間決算報告の承認（中村） 資料：議 1

平成 10 年度の予算：収入 31,700,000 支出 31,700,000 中間決算：収入 55,478,913 支出 19,472,162 中間決算の収入が大きいのは前年度繰越金による。委員全員一致で承認された。

2. 平成 11 年度予算案の承認（中村） 資料：議 2

収入 41,940,000 支出 41,940,000 支出の項目に事務局開設準備費が加わった。承認。

3. 2001 年 IUPAP Biological Physics の世話人選出（永山）

上記世話人について、運営委員との兼任が望ましいとの観点から、新旧合同委員会における運営委員選挙で適当な候補者を推すことになった。また物理学会生体分科の世話人に関しては、中村委員が推薦され承認された。

4. 2000 年第 3 回東アジア生物物理学会組織委員選出について（松本）

上記国際学会の日本側組織委員について、co-chairman に松本、organizing committee に郷通・川戸・郷信・柳田、scientific program committee に永山・桐野の各氏を選定し、韓国側に手紙を発送済みであることが報告された。

5. リアライズ社再契約の交渉について（松本） 資料：議 5・5_

松本会長・郷通副会長・桐野編集実行委員長とリアライズ社との話し合いにより、会誌と年会予稿集の印刷に関して発生したトラブルの改善に努力する姿勢が見えたので、現在再契約の手続を進めている旨報告された。また契約書の文面に関しても改訂を検討中。

6. 次期監事の候補者について（松本）

次期監事に郷信広氏を推薦された。新旧合同委員会で提案され、了承を得る手続を踏むことが了承された。

7. 情報学シンポジウムへの投稿論文に関する新しい取り扱いについて（松本）

日本学術会議主催の上記シンポジウムの論文選集を作製することに対して異存はないかとの問い合わせがあり、検討の結果特に問題なしということでした。了承された。